

9月16日(金)

第2回 学校評議員会

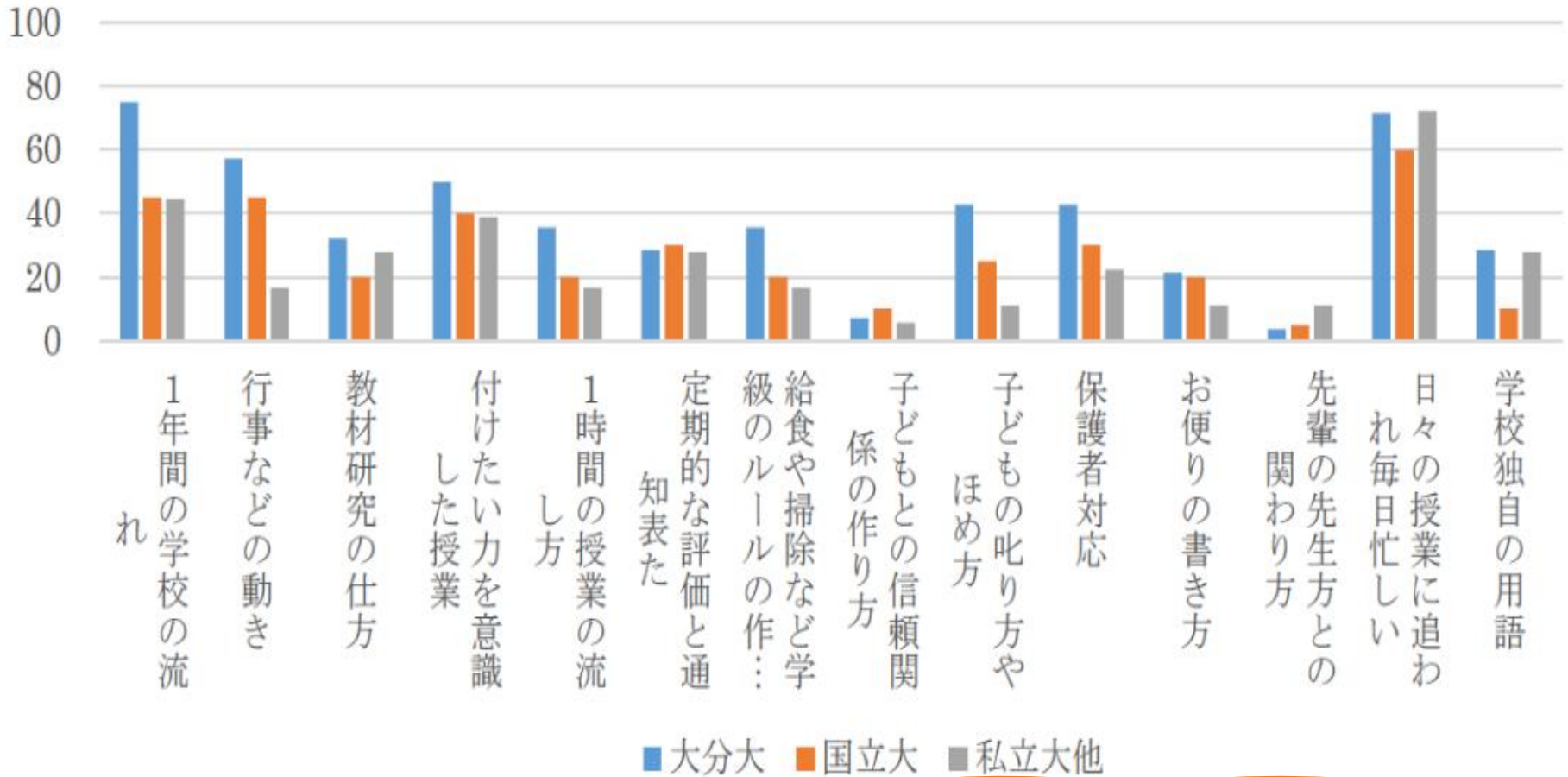
本校の教育実習について

大分大学教育学部附属小学校

指導教諭 桐野 愛

はじめに

平成28年度 新採用者が強く困りを感じる事項



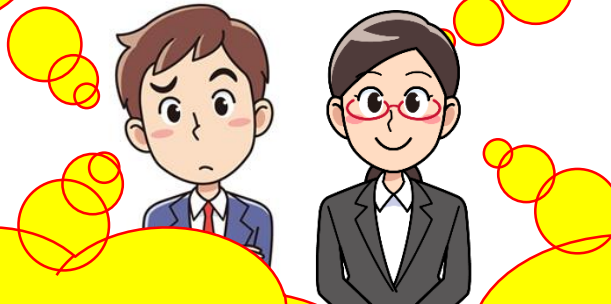
県教委（県教育センター）と連携して、平成28年度から新採用者に追跡アンケートを実施→結果を大学と共有

はじめに

卒業生の声...

実際の業務を少しでも経験する機会を増やしてくれると現場に出たときに混乱しなくて済むと思う。(平成24年卒)

教育実習では授業についてしかなかった。(平成25年卒)



毎日バタバタと走り抜けとても辛かったように思います。子供との信頼関係、保護者との関係、行事が近づいた時の日課表の組み方など少しでも知っていたら...。(平成26年卒)

実際の学校の流れをつかむようなことがあれば嬉しい。1時間の授業の立て方、指導案の鑑の部分より本時の立て方をもっと学びたかった。(平成27年卒)

はじめに

附属小教員の声...

事前に打ち合わせがないので、何をどうすればいいのかわからずにこっそり隣の先輩の指導を見に行っていました。

本時案ありきの指導案作成や指導案の鑑の部分作成に重きを置く実習では現場に出で困るのでは...

実習生の授業を模造紙5枚分くらいに書き起こしていたけど、あれは何かの役に立ったのかな。

実習生はひたすら授業記録をとる。私たちはそれを毎日読んで返事を書く...。給食を食べる暇もなく、辛かった。



大学教員の声...

職員室はピリピリしていてちょっと入りづらい雰囲気でしたね。できれば近づきたくないというか...

附属の研究や事後研修は独特でした。大学の職員が口が出せない感じでした。



附属学校の教育実習改革

指導案作成に重点を置いた指導（附属学校単独）

授業は**一人3回**あとはひたすら**授業の記録**

- ・授業は附属学校の進める形態
- ・授業後は模造紙に発言の書き起こし

帰宅は**21時以降**

- ・実習に来て一からの授業づくりを学ぶので土日に学校に来て指導を受ける実習生もいた

日記のようなレポート

- ・書く視点がなく同じような内容を毎日提出

共通理解がないままの指導

- ・事前の打ち合わせがなく、実習主任が大学で講義した内容も知らされない。個々の教員に任せられた指導

生活指導と指導案作成のバランスを考えた指導（学部と連携）

半日・一日学級担任で担任業務を経験

退勤は**18時より前**

- ・事前に学部の指導のもと指導案を書いてもらい指導案は実習生同士でシェア、そのほかの授業は実践的で簡単な板書指導案でOK

自分の**思考を見直せる**レポートに

- ・レポートに書く視点を見出しとして書き、内容も文型をそろえることで整理できるように
- ・毎日提出から……交換日記型（リレー形式）レポートに

指導の重点を共通理解、チームによる指導

- ・指導教諭等が大学での事前指導の内容を説明し、共有化
- ・実習主任等が教育実習の目的、指導の重点を説明、全員で足並みをそろえた指導に

生活指導と指導案作成のバランスを考えた指導

半日・一日学級担任制度

＜半日・一日学級担任 日課表イメージ＞

実習生：指原、竹内、諫山（仮名）

	月 指原・半日担任 諫山・半日担任	火 竹内・半日担任	水 指原・一日担任	木 竹内・一日担任	金 諫山・一日担任
そうじ					
朝の会					
1	国語	算数	理科	算数	算数
2	書写(専科)	社会	国語	国語	外国語
3	道徳	図工(専科)	算数	社会	国語
4	算数	図工(専科)	社会	音楽(専科)	体育
給食					
5	理科	国語	学級(担任)	理科	社会
6	特活		家庭科	委員会	総合
帰りの会					

実際の学校現場での担任業務を意識し半日・一日学級担任で担任業務を経験。
生活指導と指導案作成のバランスを考えた実習指導へと変えた。

大学での学習をベースに



子どもと信頼関係を構築する力



授業を分析する力



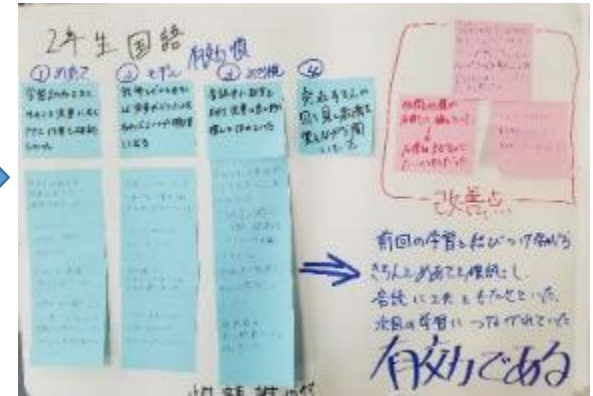
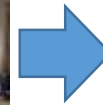
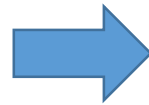
教材を分析する力



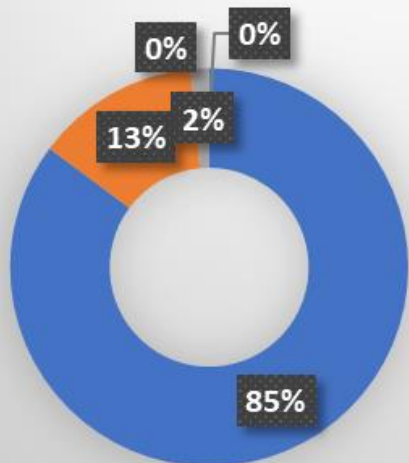
大学との連携について

		1年	2年	3年	4年
学校教育教員養成課程	初等中等教育コース	(附属四校園参加体験 教職入門ゼミ 4回)	介護等体験5日間 (社会福祉施設)	教育実習 (主免2) ①+②	介護等体験2日間 (附属特別支援学校)
	特別支援教育コース		(公立校等参加体験 教職展開ゼミ 2日)		教育実習 (主免1) ①+③
				教育実習 (主免) ①+④	教育実習 (基礎免) ③ 教育実習 (副免) ①+②

学部1年生から教職への意欲喚起に繋がる実践的指導



附属小学校の授業観察を通して、教職への関心・意欲を高めることができたか



- とてもよくあてはまる
- ややあてはまる
- どちらともいえない
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない



実践力に繋がる学部のカリキュラムへの協力

学部の教員の指導

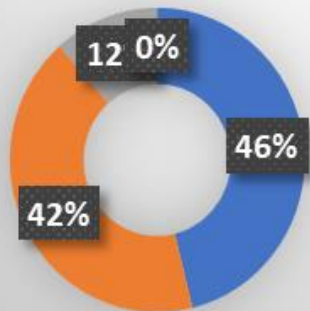


現場の教員による
実践的な指導
(附属小学校指導教諭等)



< 板書演習 >

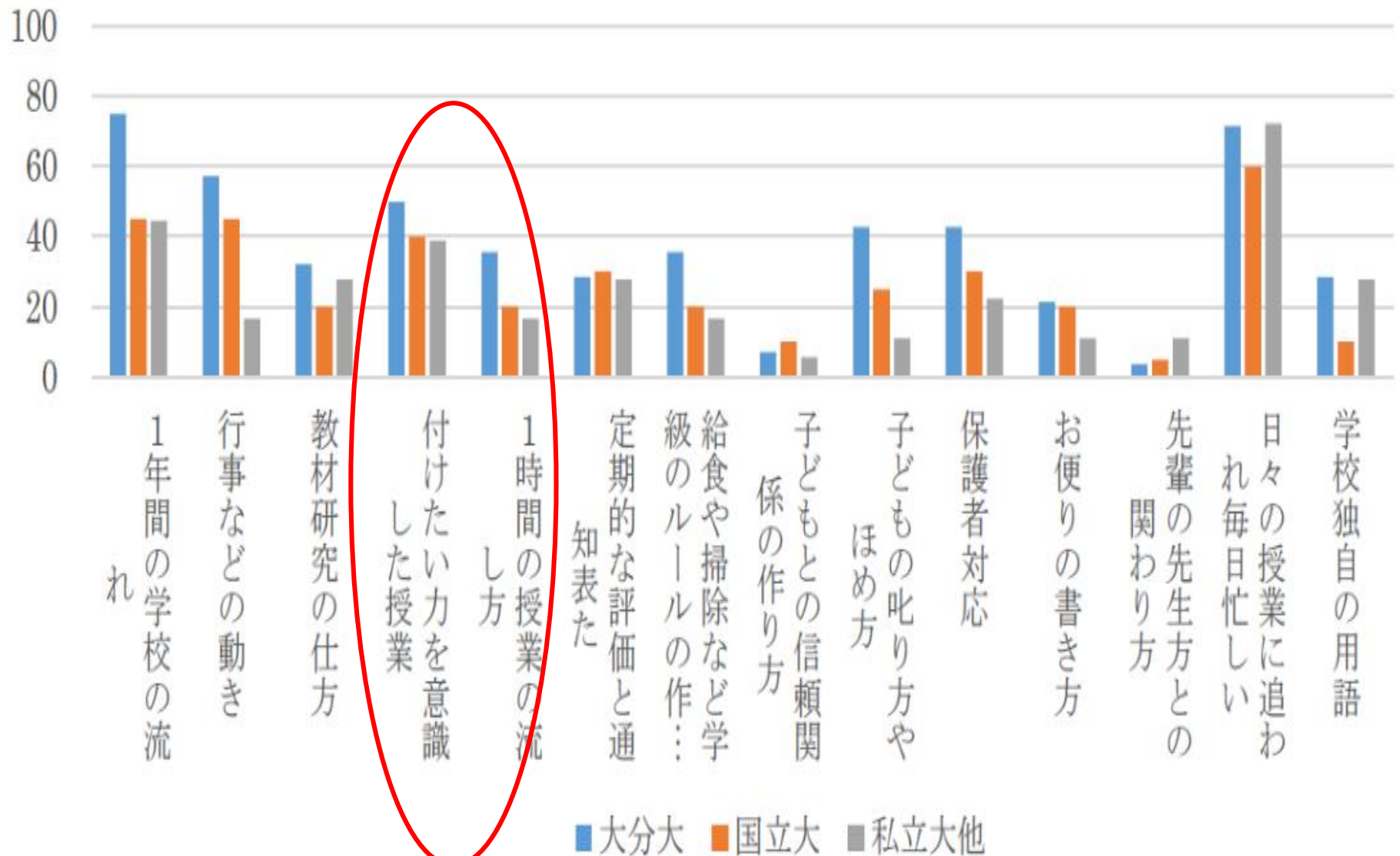
学部3年生板書演習



- 生かされた
- まあ生かされた
- あまり生かされていない
- 生かされたとは言えない

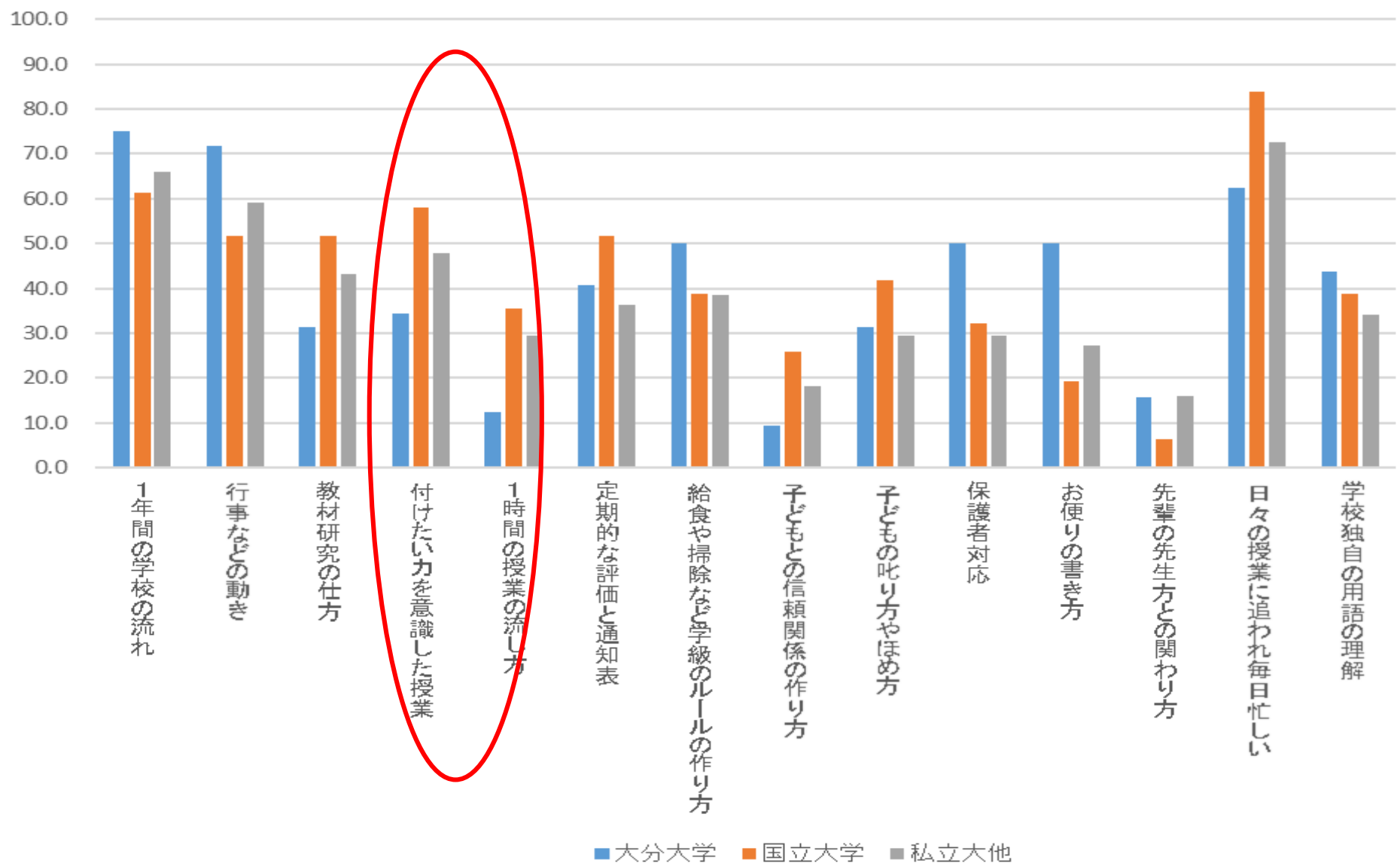


平成28年度 新採用者が強く困りを感じる事項



学部と連携した教員養成(エビデンス)

令和3年度 新採用者が強く困りを感じる事項



1. 教育実習のねらい

再来年の4月から

- I 学校という組織の一員として仕事を任される
- II 社会人として生活が始まる
- III 学級担任として子どもの前に立つ
- IV 子どもの前で授業をする

他の仕事では「研修期間」があり、そこで心構えや仕事内容など学習するが、教員は仕事と研修が同時進行で行われるため、現場では1年目も30年目もほぼ同じ仕事内容

1. 教育実習のねらい

よって、教育実習では、

指導力・実践力

を鍛える必要がある

自分で判断する力を付けてほしい

自分の適性を見極めてほしい

1. 教育実習のねらい

教育実習で皆さんに身に付けて欲しい事柄

I 教職への使命感・責任感，教育的愛情等に関する事項

II 社会性や対人関係能力に関する事項

III 児童理解や学級経営等に関する事項

IV 教科内容等の指導力に関する事項

教育実習の評価の観点

1. 教育実習のねらい

I 教職への使命感・責任感, 教育的愛情等に関する事項

- 課題と改善
- 役割の理解と遂行
- 児童一人ひとりとの対応, 関わり
- 児童の安全や環境整備への配慮

先生なんだということ
を自覚して接
しているか

教職の基礎

1. 教育実習のねらい

III 児童理解や学級経営等に関する事項

- 適切な指導
- 支援を要する児童への適切な支援
- 学級活動や掃除指導, 給食指導
- 状況を把握と的確な判断, 適切な指導
- 児童観察と児童理解

学級担任の基礎

1. 教育実習のねらい

II 社会性や対人関係能力に関する事項

- 規範意識
- 社会人としての常識
- 他との協働
- 組織の一員として, 報告・連絡・相談
- 指導への対応

どんな仕事でも
一緒にです

社会人の基礎

1. 教育実習のねらい

IV 教科内容等の指導力に関する事項

- 学習指導要領に基づいた単元構想
- 教材研究
- 適切な発問, 板書, 説明
- 付けたい力の明確化
- 「めあて」と「振り返り」のある授業
- 評価の観点に基づいた, 児童の把握と指導

独自で考えていい部分
もありますが、絶対
にずれてはいけない
ところ(指導事項)
があります。

教職の専門性の基礎

2. 教育実習全体のスケジュール(概要)

碩田学園・金池小

6月8日(水) 16:00～ 前半・後半合同

顔合わせ

代表授業について (決定)

教科書を買って、該当単元を読む。
学習指導要領解説を読む。
教科書会社のHPより指導計画等見てどんな単元か把握する。

6月27日 午後

事前訪問

実習の概要 顔合わせ

前半6月27日スタート

観察 実習	1	授業観察	代表授業の 指導案作成 アドバイス
	↓		
	↓		
	↓		

7月20日 事前指導

夏休み 指導案作成

8月18日 指導案提出

前半9月5日スタート

本 実 習	1	授業を1・2時間する	5時間授業
	↓	代表授業	
	↓	指導案審議	
	目	半日担任 授業振り返り	
	2	授業を1・2時間する	
	↓	授業振り返り	
	↓	1日担任 ↓	
	目	(木・金) 代表授業	
	3	授業を1時間位する	
↓			
↓			
目	実習のまとめ		

後半7月4日スタート

観 察 実 習	1	授業観察	代表授業の 指導案作成 アドバイス
	↓		
	↓		
	↓		

7月20日 事前指導

夏休み 指導案作成

8月18日 指導案提出

後半10月24日スタート

本 実 習	1	授業を1・2時間する	5時間授業
	↓	代表授業	
	↓	指導案審議	
	目	半日担任 授業振り返り	
	2	授業を1・2時間する	
	↓	授業振り返り	
	↓	1日担任 ↓	
	目	(金・月) 代表授業	
	3	授業を1時間位する	
↓			
↓			
目	実習のまとめ		

7月20日 事前指導

夏休み 指導案作成

8月12日ごろ 指導案提出

8月26日 直前訪問

8月29日(月)実習スタート

1	授業観察	
	↓	
	↓	
目	代表授業 指導案審議	
2	授業を1・2時間する	授業振り返り
	↓	
	↓	
目	半日担任	
3	授業を1・2時間する	授業振り返り
	↓	
	↓	
目	1日担任 ↓	
4	授業を1時間位する	
	↓	
	↓	
目	9/21 代表授業 実習のまとめ	

9月22日終了

2. 教育実習の内容 大まかなスケジュール

時期	主な実践内容
事前指導	○顔合わせ ○指導案作成のための準備 ○代表授業研の教科・単元名・日時・授業者 等
観察実習 観察 体験 目標設定	○記録のとり方を学ぶ ○授業の様子を見て記録をとる ○目標をもつ ○記録をとり分析する (子どもとの関わり方, 授業, 学級経営, 学年経営) ○短学活や掃除, 給食指導を行う ○教材研究を行う
本実習 第1週目 実践①	○新大分スタンダードの授業を目指した教材研究や実践を行う ○本時案授業(板書指導案)を実践する(1人1回) ○半日学級担任を行う(1人1回以上)
第2週目 実践② (活用)	○新大分スタンダードの授業を目指した教材研究や実践を行う ○目標を振り返り, 中間総括をする ○代表授業研と事後研を行う ○1日学級担任を行う(1人1日以上)
第3週目 総括 (まとめ)	○新大分スタンダードの授業を目指した教材研究や実践を行う ○学年経営に参加する ○3週間を振り返り, 総括をする(何なら授業のリベンジも)

3. 指導案作成を通じた教材研究に関わって

付けたい力・資質・能力
(学習指導要領の指導内容)

指導内容や評価規準は学習指導要領に基づいて

子どもたちが自ら進んで、友だちと対話したり協力したりしながら、深く考えていくように
主体的・対話的で深い学び

到達させるための手立て(活動や発問)などを考えるのが指導案作成

児童の実態

3. 指導案作成を通じた教材研究に関わって

指導と評価の一体化

評価規準・・・**学習内容** + **資質・能力**

文末表現は ～している。～ている。

～しようとしている。(興味・関心・意欲)

ねらい・・・**学習内容**(～を, ～について)

学習活動(～を通して)

資質・能力(～が出来るようになる) ← 評価規準の3観点から

めあて・・・「ねらい」を子どもの言葉で提示したもの。

かだい・・・解決の視点を含むもの。目当てをより具体化・焦点化したもの。

まとめ・・・課題に対応するもの。答えのようなもの。

ふり返り・・・本時の学びを自覚させるもの。

※大切なのは型にこだわることではない。教科の特性や単元の展開, 本時のねらい等に応じて, 子どもに力を付ける展開を考えること。

4. 学習指導案作成について

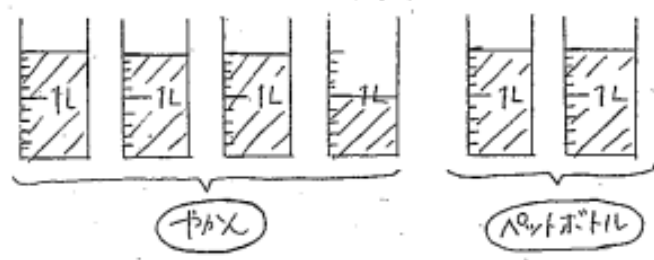
9月9日(木) 3校時	2年2組 名前	5 / 時間目
単元名 かさの計算		

本時のねらい: かさについて、異なる容器に入った水のかさを合わせる活動を通して、合わせて水のかさや2つの水のかさのちがいかさの単位を用いた加法性、減法性で表せることを理解できるようにする。

評価規準: かさの加法性、減法性について、標名数(L, dL)で表されたかさの加減計算ができる。(知識・技能)

具体的な子どもの姿: 「かさの計算もとけまでの足し算、引き算と同じようにできる。」10dLより大きいばあいは、1Lのまとまりと1dLいくつかで表せる。

㉞ かさのたし算、ひき算ができるようになる。



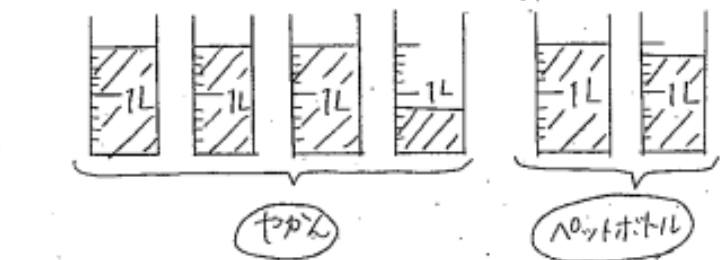
㉟ あわせて何L何dLでしょうか?

$$3L 5dL + 2L = 5L 5dL$$

㊱ ちがいは何L何dLでしょうか?

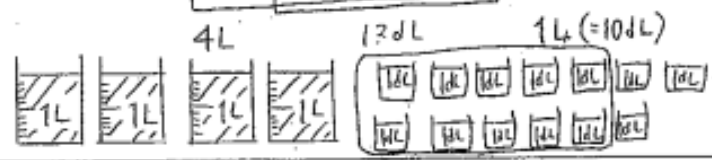
$$3L 5dL - 2L = 1L 5dL$$

㉞ かさの足し算の和が10dLをこえたら、どのように表せればよいだろうか?



㉟ あわせて何L何dLでしょうか?

$$3L 4dL + 1L 9dL = 5L 3dL$$



㊱ かさのたし算の和が、10dLより大きいばあいは、1Lのまとまりと1dLいくつかで表せればよい。

㊲ P109 ㉞㉟

㊳

- 指導
- 1リットルずつに注がれたやかんとホットボトルの水を目盛りが書かれていない透明の容器に移し、そこから単位を用いたかさの計算へ導く。
 - めあての確認を行う。くりあがりのない問題を提示する。
 - くりあがりが生じた問題を出し、そこからかごの内部へと導く。考えさせる時間を設ける。
 - 児童が考え出してものを組み立て、まとめを導き出していく。
 - 練習問題(P109㉞㉟)、ふりかえりを行う。

4. 学習指導案作成について

「新大分スタンダード」で主体的・対話的で深い学びの実現を

「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」を育成する ワンランク上の授業を目指して

1 1時間完結型

主体的な学びを促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」

- * 学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」
- * 学びの成果を実感し、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげる「振り返り」
- * 追究すべき事柄を明確にする「課題」、追究した結果を明確にする「まとめ」

2 板書の構造化

- * 思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書

3 習熟の程度に応じた指導

- * 「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り
- * 「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫



安心して学べる
「学びに向かう学習集団」

4 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を創造する学習展開

- * 各教科等の見方・考え方を働かせて展開する「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現・交流→振り返り・評価」等の学習過程の繰り返しの中で行われる
 - ・ 知識の関連付け、問題の発見・解決、情報を精査した考えの形成、思いや考えに基づく創造
 - ・ 様々な人との対話・協働による自分の考えの深化・拡充

「新大分スタンダード」による授業改善は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「アクティブ・ラーニング」の視点による授業改善と重なります。

4. 学習指導案作成について

指導と評価	することがわかるような「めあて」を板書に位置付けている
	解決のための具体的な手立てがある
	適切な振り返りや学びの価値付けがある
	学習指導要領に基づく授業のねらい(付けたい力)は達成できた
支援	机間指導は, どの児童にも行われている
	児童の理解の程度を確かめている
	理解の厳しい児童に支援している
生徒指導の 三機能	できるだけ多くの異なる児童を指名している
	児童に相槌を打ったり, 声をかけたりしている
	児童が考えたことを書いたり, 発表したりする場がある
	授業中に協働的な学びを高めるような声かけがある
	授業の妨げになるような行為や人の発言を聞かなかったり, 馬鹿にしたりするような態度をとった児童を毅然とした態度で諷めている
問題解決的 な展開	授業の中で児童が達成感を感じられる場面がある
	児童の思考を深めている
その他	児童全体を見ながら授業を行っている
	声の大きさや速さが適切
	黒板の字は大きく見やすい
	ねらいに関わるキーワードを板書に位置付けたり, 見やすく整理したりしている

5. 校内における組織的な教育実習

令和4年5月16日(月) 経営会議済み

令和4年5月19日(木) 運営委員会

実習主任(指導教諭)

令和4年度教育実習全体計画

1. 教育実習の目的(四校園共通)

教師として児童の教育に携わろうと志す者が、これまで学習してきた教育の理論や教材に関する専門的な知識を具体的な場で確かめるとともに、教育的な諸問題の解決を試みようとする過程を通して、教師としての人格と見識を磨き、教職を担う者としての自覚を一層深めることができるようにする。

2. 求められる教師像—大分県教育委員会

- ① 専門的知識をもち、実践的指導力のある人
- ② 使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性をもつ人
- ③ 柔軟性と創造力をそなえ、未知の課題に立ち向かう人
- ④ 学校組織の一員として考え行動する人

3. 小学校実習において

- ◎学第1年生…教職入門ゼミ(10～11月 附属小学校にて) **135名が4組に分かれてくる**
- 学第2年生…教職展開ゼミ
- ◎学第3年生…主免実習 附属小学校 他公立校にて
- 属実** 【前半】6/27～7/1 【後半】7/4～7/8
- 本実習** 【前半】9/5～9/23 【後半】10/24～11/11
- ◎学第3～4年生…主免実習
- 学第3～4年生…学ビングサポート
- ◎学第4年生…卒業前授業観察(2月 希望者のみ 附属小学校にて)

4. 主免実習について

(1) 主免実習のねらい

全体指導・学年指導・担当教諭指導のそれぞれでPDCAを意識した指導を繰り返すことを通して、**自分の授業や指導を自己分析し改善する力を付けることができるようにするとともに、自分は教師に向いているのか、自分は教師としてやっていけるのか等を判断していく一助となるようにする。**

【 学びのサイクル 】



附属職員用

令和4年度

大分大学教育学部附属小学校

教育実習要項



	【前半】	【後半】
観望実習	6月27日(月)～7月1日(金)	7月4日(月)～7月8日(金)
本実習	9月5日(月)～9月22日(木)	10月24日(月)～11月11日(金)

目次

I	附属小学校の学校経営	1	
II	実習生配属学級	4	
III	教育実習		
	1. 教育実習の目的	5	
	2. 教育実習で求められる姿	5	
	3. 実習計画(内容)	5	
	4. 実習中の指導内容等	8	
	5. 諸注意	12	
	6. 連絡事項(提出物、給食関係)	13	
IV	資料		
	①校時表	②校内配置図	③新大分スタンダード
	④実習レポート(例)	⑤授業記録	
	⑥板書指導案作成(例)	⑦実習生用授業観察シート	
	⑧給食費について		

6. 大学との連携について

日程		教室・場所	講義・演習内容	講師
5月25日 4時限		教育学部	オリエンテーション ～実習の意義と心得～	教育実践センター 教員
6月8日(水) 16:00～		附属小学校	附属小訪問 事前打ち合わせ	附属小学校 教諭
6月16日(水) 4・5時限		教育学部	記録の取り方・分析について	教育実践センター 教員
6月27日 (月) 7月4日 (月) 観察実習初日	1・2時限	附属小学校	附属小の教育について 実習校における留意事項	附属小学校 校長・指導教諭
	3時限		授業観察及び 授業記録・分析演習	附属小学校 研究主任
	4・5時限		実習校の児童の観察・授業観察	附属小学校 教諭
	6時限		授業観察及び 授業記録・分析演習	附属小学校 指導教諭・研究主任
6月27日(月)～ 7月4日(月)～		附属小学校	1G 2G 観察実習	附属小学校 教諭
7月20日 (水)	4時限	教育学部	授業づくり及び 学習指導案の作成について	附属小学校 指導教諭
	5時限		学習指導案作成演習 ①	教育実践センター 教員
7月27日(水) 4・5時限		教育学部	学習指導案作成演習 ②③	教育実践センター 教員
9月5日(月)～ 10月24日(月)～		附属小学校	1G 2G 本実習	附属小学校 教諭